

第4回大麻町未来づくり会議 会議録

令和8年8月3日（月） 18:00～20:00 板東公民館

発言者	主な発言内容
事務局	定刻が参りましたので第4回大麻町未来づくり会議を開催いたします。開会にあたりまして小田切座長よりご挨拶をお願いします。
座長	前回会議を3月に開催し、その後、ワークショップを通じてアイデア出しや意見交換を行いました。本日は、その結果を事務局にて取り纏めたうえで、改めて委員の皆様の意見交換を行います。忌憚のないご意見ををお願いします。 先日、熊本地震が発生し、改めて防災力や地域コミュニティの力が問われていますので、大麻町においてもコミュニティの活性化に向け、皆様よりぜひご意見をいただきたいと思います。
事務局	ありがとうございます。事務局より3点連絡いたします。 まず、委員の変更についてご報告いたします。堀江地区自治振興会長の交代に伴い、「吉田 初子」様から「小川 泰範」様に変更がありました。 次に、会議出席者数について報告いたします。本日、15名の委員のうち12名の委員が出席しています。小川 泰範 様、近藤 龍彦 様、松浦 素子 様は、事前連絡のうえご欠席となっております。 最後に、3月18日開催しました第3回会議の議事録につきましては、市公式ウェブサイトに掲載しておりますので、ご報告いたします。 それでは、大麻町未来づくり会議設置要綱第5条の規定により「会議については座長が進行する」としておりますので、小田切座長に進行をお願いします。
座長	それでは次第に沿って議事に入ります。 まず、(1) グランドデザイン（素案）について、事務局より概要説明をお願いします。
事務局	資料①4ページ以降により、令和8年6月28日にドイツ館で開催した「まちづくりワークショップ」での参加者からの意見の報告を行う。
座長	ありがとうございます。改めて整理しますと、今回の会議資料では、まちづくりワークショップで出た意見とグランドデザイン素案とを照らし合わせ、意見に対応できている点・できていない点を整理しています。それを踏まえ、どう対応していくかを議論していきます。
委員	綺麗にグランドデザイン修正案にまとまっていると思います。現実的なものでなければ、住民に失望を与えてしまうので、短期的に実現性の高いグランドデザインを策定する必要があると思います。 一步一步前に進んでいくことが大切で、例えば数年以内に実現できるものをグランドデザインに挙げていくことが大事だと思います。
座長	ありがとうございます。その他、グランドデザインへの反映漏れがないか確認をお願いします。
委員	うまく取り纏められていると思います。その中で、「窯元」×「蔵元」協創コンテンツ創出事業について、ワークショップでの意見が無かったようなので、2点提案させていただきます。 1点目は、事業許可や資格の問題では課題かもしれませんが、タイでよくあるトゥクトゥクを走らせ、観光客や買い物したい人を乗せてはど

発言者	主な発言内容
	うでしょうか。 ２点目は、「商」と「農」とのコラボ事業をしてみてもうでしょうか。 例えば、トレーラーハウスを活用して、商工会と農協が組んで、生鮮野菜を販売するなどはどうでしょうか。
座長	「移動」に関する提案と「商」・「農」に関する提案をいただきました。グランドデザインの中で、「移動」については、「デマンド交通」が対応しているのではないのでしょうか。
委員	「デマンド交通」となると大掛かりなので、規模の小さいものを想定していただきたいです。
委員	観光情報センターのカウンターで観光案内を行っていますが、インバウンドの方に対しては、スマホの翻訳アプリを介して対話・応対をしています。過去に、夜間、大麻町の民泊施設までの行き方の案内を行うケースがありました。昼間であれば、バスやＪＲを案内できますが、夜だったので結局タクシーを手配しました。全く土地勘のない方は、必ず交通拠点に立ち寄ると思いますが、時間帯によっては、目的地までの交通手段が無いので、案内に苦慮しています。 今すぐできることでいうと、民泊リストを作成して、アクセス案内に活用するなど、移動するための情報をまとめるべきではないかと思います。
事務局	「窯元」×「蔵元」協創コンテンツ創出事業での交通手段について、大麻町は道が狭いところもありますので、トゥクトゥクのような乗り物が使えないかというご意見をいただきました。 グランドデザイン素案（資料④）２７ページには、産業振興と観光振興を組み合わせしていく旨を記載しており、窯元・蔵元が単なる生産者という捉え方ではなく、観光振興と結び付けていくという視点を入れています。移動が面白い・便利という要素の組み込みや強調は可能と思いますが、委員から提案のあった例でいうと、事業許可や免許、運営など課題も多いかと思います。どのような選択肢やどのような進め方があるか確認し、事業実施の前には皆様にご報告したいと考えていますので、一旦は素案のままとさせていただきたいと思います。 次に、トレーラーハウスの活用について、どのような事業者が大麻町に望まれているか、大麻町に出店したい事業者がどれだけいるか等、調査・研究する段階に進めていきますので、いただいたご意見は参考とさせていただきます。 最後に交通網の整備について、大麻町に交通空白地帯があるほか、鳴門市全体として終便が早いとの意見もありますので、ご意見を踏まえながら関係課と調整していきたいと思います。
座長	ありがとうございます。グランドデザインは総合計画のように１個１個を確定しながらというより、方向性を示したものでありますので、いただいたご意見の要素が含まれていれば、実現に向け、対応していくことになります。 グランドデザインの中に観光振興や産業振興の要素は、入っていると思いますので、具体的にどのように実現していくかの議論になっていくと思います。 他の法律やルール、別の取り組みとの兼ね合いなども勘案しながら、実施に向けた検討をお願いします。

発言者	主な発言内容
委員	スケジュールについて、具体的にいつ・だれが実施するという点について説明をいただきたいです。出てきた意見に反対意見はありませんので、実施していく人やスケジュールを決めた方がいいのではないのでしょうか。 また、大麻町は自然が豊かで、歴史文化のまちなので、観光に主軸をおいて人を呼び込んではどうでしょうか。
委員	プロジェクトを実現するには、行政だけが動くのではなく、地元地域自体も前に進めていく組織体が必要だと思っています。例えば、板東自治振興会・堀江自治振興会の垣根を越えた、大麻町全体の新たな地域住民で構成される組織体を立ち上げるなどが効果的だと思います。 観光産業のシフトについて賛成です。地元の食材を使ったお土産の開発等で商業と農業のリンクも実現できます。地域の名物料理の開発を民間企業が立ち上がってくることが大事です。その商品を購入した人がSNSで発信することで、人が集まってくると思います。
座長	ありがとうございます。スケジュールの話が、出ましたので先に（４）今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。
事務局	資料①２８ページにより、今後のスケジュールを説明。
委員	第５回大麻町未来づくり会議（令和９年１月頃）は、どのような主旨の会議になりますか。
事務局	パブリックコメントで出た意見を踏まえ、グランドデザインの再修正を行うかどうかを諮る会議とします。そこでの意見を踏まえたうえで、最終的には、市がグランドデザインの策定を行います。
委員	全ての事業について、市で予算確保を行うのでしょうか。
事務局	予算化が必要な事業については、議会に諮りますが、一気に予算化するのは現実的ではありません。外部団体との交渉が必要なもの、法律の壁を越えなければならないものなど、予算化までに多くの課題がありますので、できるものから検討・実施させていただきたいと思います。
委員	第５回会議では、予算取りを行う具体的事業に関する説明はありますか。
事務局	短期プロジェクトは概ね５年以内に着手する事業ですが、その中で早く始まる事業については、第５回会議の中で見通しがつくかと思います。
座長	ありがとうございます。この会議は、グランドデザインへの意見を集約する会議ですので、スケジュール案のとおり進めていただきたいと思います。 次年度以降、具体的に事業を始める時に住民の皆さんと合意形成を図る何らかの組織体が必要であれば、組織の立ち上げも考えられるでしょうし、事業ごとに関連する方も異なるので、複数の組織体が必要となることも考えられます。 事業を具体的にどうしていくかは、この会議とは別会議体となるものと思います。
事務局	鳴門市の市政の中で総合計画など多々計画事がありますが、地域を決めて、地域の皆さんが参画しながらグランドデザインを描いて実施する取り組みは今まで無かったと思います。市で行うのか、民間でするのかという議論もしていただいておりますが、市でもどこから着手していこうか検討を進めています。一方で、地元の皆さんも大麻町の活性化に向けてさまざま検討いただき、すでにスタートしているものもある状況と

発言者	主な発言内容
	認識しています。 早く事業化してほしい、どの事業がどのタイミングで予算化するかという議論について、行政の予算は年度単位で動いています。おそらく1月、2月になると議会に予算案を上程する段階になりますので、今とは違う状況になっていると思います。また、3か月ごとに補正予算にて、一部先行して予算化することもあります。 このスケジュール案で行きますと第5回会議と並行して、グランドデザイン素案を議会に報告し、その内容について来年度4月以降に地域説明会を開催する予定としていますので、少なくとも地域説明会のタイミングで、令和9年度に予算化した事業のご説明ができると思います。
委員	民間では把握しきれていない助成金制度があることがあります。 鳴門市の重点区域とされる市中心区域では空き家を活用し店舗への改装に対する助成金制度があります。一方で、大麻町にはそのような制度が無い。大麻町にも、そのような制度を設けてほしいという要望をしていき、大麻町でも空き家改修の成功例を作っていきたいと思います。 グランドデザインを実現するために、県や市の補助金制度に関する情報共有を行っていただきたいです。
委員	グランドデザインには若者や若年層向けのものが少ないことが気になっています。ワークショップの中で「若年層向けアニメコラボ等の提案」がありましたが、鳴門市ではポケモンの絵が描かれたマンホール蓋『ポケふた』が3つ設置されています。それを目的にインバウンドや県外客が多いと思います。大麻町でもそのような取り組みができないでしょうか。大麻町は歴史がある町なので、ポケモンとコラボしてイベントを開催することで、インバウンドや県外客の誘客に繋がると思います。第3日曜日に開催している日曜市でポケモンカード教室を開催していますが、ポケモンカードを介して子供たちが交流しています。すぐにでも実現可能だと思いますので、グランドデザインに反映してはどうでしょうか。
委員	鳴門市で鳴門にちなんだデザインのマンホールカードがあります。ポケモンカードみたいに配ったら喜ばれると思いますが著作権の関係で配布が難しいようです。 民間団体主催のイベントをよくSNSで目にしますが、例えば、熱意のある方で観光アンバサダーを作って、地元のよさをネットで公表・発信してはどうでしょうか。
事務局	今出てきた意見については、資料④25ページに掲載している「④地域おこし協力隊を活用したシティプロモーションとプロジェクト運営サポート」が最も近い事業と考えています。「地域おこし協力隊を活用した」と記載していますが、地域の若者視点や地元ならではの視点を含ませ「地域の力を活用した」という文言をタイトルに追加させていただきたいと思います。 以前、鳴門市でもポケモンとコラボしようと試みたことがありましたが、一次審査で落選した事例がありました。ポケふたは、交渉に何年も費やし実現に至った経緯があり、すぐに実現可能とは言い難い状況です。
委員	大麻町防災センターが完成したら、近隣の保育園に通わせているお母さん方が集える場所になりえる可能性があると思っています。そこで、地域おこし協力隊が若い世代の方たちとともに情報発信していくことが

発言者	主な発言内容
	望ましいのではないかと考えています。
座長	ありがとうございます。今ご意見いただいた内容については、デザイン上は網羅されていると思います。具体的にどう実施していくかの問題ですので、今後検討いただきたいと思います。 (3) サブタイトル等の検討について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料①22ページにより、サブタイトル等の検討について説明。まちづくりワークショップの中で、テーマ（醸すという表現）がわかりにくいことから、サブタイトルを付ける提案があったことから、イメージ図を追加した事務局案を作成。
座長	ありがとうございました。何かご意見はありますか。
委員	「醸す」という言葉について、初見で見た人はわかりにくいと思いますので、ひらがな標記にしてはどうでしょうか。
委員	サブタイトルは砕けたものや簡略なもの、英語などがいいのではないのでしょうか。
座長	タイトル・サブタイトルはグランドデザインのどこに掲載しますか。
事務局	グランドデザインの表紙やイメージ図の中などに掲載します。
座長	資料①23ページの説明はどこに載せますか。
事務局	グランドデザインに掲載します。
座長	資料①23ページの説明があれば、タイトルの意味を十分補足できていると思います。そのうえで、サブタイトルによる情報追加は必要でしょうか。
事務局	「はじまりを醸す大麻町」だけの方が、「なんだろう」という目の惹き方ができ、詳細な説明について補足文章で補うとするということであれば、サブタイトルは不要という整理もできるかと思います。
座長	皆様の意見を踏まえ、サブタイトルやイメージ図は無しでいかがでしょうか。
各委員	了承。
座長	ありがとうございました。他に何かありますか。
委員	「古墳」の要素がグランドデザインに含まれていないのではないのでしょうか。
事務局	今回、新たに「大麻町歴史研究」プロジェクトを追加させていただくことを提案しており、その中で古墳を含めて調査していきたいと思います。本日、「大麻町歴史研究」についてグランドデザインへの追加をご了承いただけますと、後日、掲載案を各委員の皆様にご確認いただく運びとさせていただきます。
座長	ありがとうございました。歴史のプロジェクトを追加するということで進めたいと思います。 本日の議事は以上となります。事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございました。今後につきましては、スケジュール案のとおり進めさせていただきます。 以上をもちまして、第4回大麻町未来づくり会議を終了します。 ありがとうございました。